

職場体験 プレゼンテーション ルーブリック 改訂版

	A	B	C	D
①話し方 ☆	声の大きさや話す速さが適切で抑揚もあり、最後まで集中して聞くことができる。	声の大きさや話す速さが適切で聞きやすい。	声が小さい、または話す速さが不適切で聞き取りにくい部分がある。	声が小さく内容がほとんど伝わらない。
②伝え方の工夫 (スライド、構成など) ☆	スライドや発表方法に複数の工夫があり、聞き手の興味・関心を引くとともに、分かりやすい。	スライドや発表方法に工夫があり、分かりやすい。	スライドや発表に工夫がほとんど見られず分かりにくい。	スライドや発表が準備不足でほとんど伝わらない。
③多面的な考え方 (情報の収集) ☆☆	体験で出会った人の話に加え、家族、資料、他者の意見なども取り入れ、自分の考えを深めている。	体験で出会った複数の人の話を取り入れ、自分の考えを深めることに生かしている。	体験で出会った人の話が少ししか含まれていない。	自分の体験だけで、他の情報は含まれていない。
④「働くことの意義」 ☆☆	職場体験での具体的なエピソードや観察したことを複数あげ、そこから得た気づきや学びをもとに「働くことの意義」について自分なりの考えを明確に説明できる。	職場体験から得た気づきや学びをもとに「働くことの意義」について自分なりの考えを具体的に説明できる。	職場体験の経験に触れながら「働くことの意義」について自分なりの考えを説明できる。	働くことの意義についての説明ができていない。職場体験での経験と結びついていない。

2年 組 番 名前

事後発表についてのアドバイス

1. 「自分の考え」を必ず入れる

体験の紹介で終わらず、「私は働くということは〇〇だと思う」という結論をもつ。

2. 多面的に考えることの大切さ + 情報収集

自分の考えだけで終わらず、職場体験先でお世話になった方々、出会った人々など複数の人の話を取り入れると説得力が増す。また、同じ職場体験先でも自分と友達の体験の違いを比較したり、家族に聞いてみるのもよい。

3. スライドや発表方法を工夫しよう

文字を詰め込みすぎず、写真や図を効果的に使う。発表は「スライドを読む」のではなく「スライドを使って説明する」。ジェスチャーなども取り入れて、聞き手の興味をひき、分かりやすい発表をしよう。

4. 練習で確認すること

声の大きさ → 教室の後ろの人にまでしっかり届くか

速さ → 原稿を読むのではなく、「話す」ことを意識

聞き手を意識して発表する。